

# 2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社ブランジスタ 上場取引所 東  
 コード番号 6176 URL <https://www.brangista.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉藤 淳 (TEL) 03-6415-1183  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年9月期第3四半期の連結業績(2024年10月1日～2025年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	3,809	8.9	750	13.3	747	13.5	452	8.9
2024年9月期第3四半期	3,498	1.3	662	37.9	658	37.4	415	26.3

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 1,854百万円(339.1%) 2024年9月期第3四半期 422百万円(25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	34.01	—
2024年9月期第3四半期	30.31	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	7,434	5,164	68.0
2024年9月期	4,959	3,637	71.8

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 5,054百万円 2024年9月期 3,563百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2025年9月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

## 3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	12.0	1,150	20.9	1,150	21.7	700	15.4	52.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年9月期3Q	14,575,300株	2024年9月期	14,575,300株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	1,550,588株	2024年9月期	1,054,988株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年9月期3Q	13,313,434株	2024年9月期3Q	13,721,090株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(四半期連結損益計算書) .....	5
(第3四半期連結累計期間) .....	5
(四半期連結包括利益計算書) .....	6
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が見られる一方で、物価上昇が消費者マインドに一定の影響を与えており、個人消費の回復が進むなかでも、その負担が消費行動に慎重さをもたらしめている可能性があります。また、米国を中心とした通商政策や金融・資本市場の変動が我が国の経済に対して不確実性を生んでおり、今後の景気動向に影響を与えるリスク要因として注視する必要があります。

このような環境のもと、当社グループは、「プロモーション支援事業」「メディア事業」「ソリューション事業」の業容拡大に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、引き続き好調なプロモーション支援事業が業績拡大を牽引し、26.9%の増収、47.6%の増益となりました。売上高3,809百万円(前年同四半期比8.9%増)、営業利益750百万円(同13.3%増)、経常利益747百万円(同13.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益452百万円(同8.9%増)となり増収増益を達成いたしました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### [プロモーション支援事業]

プロモーション支援事業では、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き、潜在顧客の開拓を目的に、全国で開催されている展示会への出展を継続するとともに、メディア事業における自治体専属チームを戦略的に活用し、地方自治体への「アクセルジャパン」の提案を推進しております。さらに、全国各地の金融機関との連携強化も継続し、更なる新規売上の増加を図っております。また、カスタマーサクセス部門においては、タレント素材の提案からコンサルティングに至るまでワンストップで支援することで、顧客満足度の向上を図っております。既存顧客の課題のヒアリングや成果目標の共有を通じて対策を行う伴走型のサポートによって契約更新率の向上、増収増益に貢献いたしました。

以上の結果、プロモーション支援事業は、売上高1,506百万円(前年同四半期比26.9%増)、セグメント利益631百万円(同47.6%増)となりました。

#### [メディア事業]

メディア事業では、ウェブの表現力や利便性を活かした無料で読める電子雑誌を制作・発行し、電子雑誌への広告掲載や、企業のブランド価値向上を目的とした電子雑誌の制作受託サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、電子雑誌「旅色」における宿泊施設や飲食店などからの広告売上は堅調に推移いたしました。また、地方自治体とのタイアップ広告売上も、今期から取組んでいる施策が奏功し、回復基調となりました。第4四半期連結会計期間も引き続き、宿泊施設や飲食店などからの広告売上が堅調に推移することを見込んでおります。

以上の結果、メディア事業は、売上高1,455百万円(前年同四半期比6.6%減)、セグメント利益161百万円(同20.0%減)となりました。

#### [ソリューション事業]

ソリューション事業では、ECサポートやウェブサイト制作・運営等の各種ソリューションサービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、ECサポート売上及びブランジスタ物流売上が減少した一方で、大型スポット案件である3Dホログラム映像演出サービス等が業績を牽引し、増収となりました。また、「TikTok」のEC機能「TicTok Shop」出店企業向けの運営支援サービス及びクライアントへの提案を開始しており、第4四半期連結会計期間以降において、ECサポート関連売上の増加に努めてまいります。

以上の結果、ソリューション事業は、売上高785百万円(前年同四半期比12.2%増)、セグメント利益101百万円(同34.2%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は7,434百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,474百万円の増加となりました。当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は3,605百万円となり、前連結会計年度末に比べて540百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が319百万円、売掛金及び契約資産が187百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は3,828百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,933百万円の増加となりました。これは主に、繰延税金資産が37百万円減少した一方で、投資先株式の時価評価に伴い投資有価証券が1,969百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は1,103百万円となり、前連結会計年度末に比べて68百万円の減少となりました。これは主に、買掛金が64百万円、1年以内返済予定の長期借入金が43百万円増加した一方で、賞与引当金が67百万円、未払法人税等が49百万円、その他の負債等が40百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は1,166百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,015百万円の増加となりました。これは、長期借入金が増加したことに加え、投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は5,164百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,527百万円の増加となりました。これは主に、自己株式の取得による326百万円の減少があった一方で、時価評価に伴いその他有価証券評価差額金が1,363百万円、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月14日の「2024年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,380,070	1,699,861
売掛金及び契約資産	1,632,157	1,819,980
前払費用	116,877	121,533
その他	19,613	69,731
貸倒引当金	△84,261	△105,706
流動資産合計	3,064,457	3,605,399
固定資産		
有形固定資産	33,369	34,212
無形固定資産	70,805	75,401
投資その他の資産		
投資有価証券	1,597,540	3,567,018
繰延税金資産	140,329	102,404
その他	53,337	49,875
投資その他の資産合計	1,791,207	3,719,298
固定資産合計	1,895,382	3,828,911
資産合計	4,959,840	7,434,311
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,589	203,563
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	239,866	283,095
未払金	159,427	149,519
未払法人税等	141,758	92,139
契約負債	139,661	130,792
預り金	19,051	17,982
賞与引当金	124,394	57,291
その他	109,459	69,188
流動負債合計	1,172,209	1,103,572
固定負債		
長期借入金	100,333	458,904
繰延税金負債	50,194	707,582
固定負債合計	150,528	1,166,487
負債合計	1,322,737	2,270,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	621,052	621,052
資本剰余金	1,021,448	1,021,448
利益剰余金	1,649,302	2,102,079
自己株式	△771,073	△1,097,999
株主資本合計	2,520,729	2,646,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,038,646	2,401,876
為替換算調整勘定	3,884	5,775
その他の包括利益累計額合計	1,042,531	2,407,652
非支配株主持分	73,841	110,018
純資産合計	3,637,102	5,164,251
負債純資産合計	4,959,840	7,434,311

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,498,862	3,809,771
売上原価	868,861	1,088,695
売上総利益	2,630,000	2,721,076
販売費及び一般管理費	1,967,606	1,970,837
営業利益	662,394	750,239
営業外収益		
受取利息	37	730
雑収入	172	1,345
営業外収益合計	210	2,075
営業外費用		
支払利息	2,808	2,979
自己株式取得費用	833	980
為替差損	616	816
営業外費用合計	4,257	4,776
経常利益	658,346	747,538
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	7
特別損失合計	0	7
税金等調整前四半期純利益	658,346	747,531
法人税、住民税及び事業税	100,287	164,908
法人税等調整額	136,777	93,668
法人税等合計	237,065	258,577
四半期純利益	421,281	488,954
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,326	36,176
親会社株主に帰属する四半期純利益	415,954	452,777

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	421,281	488,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,363,229
為替換算調整勘定	935	1,891
その他の包括利益合計	935	1,365,121
四半期包括利益	422,216	1,854,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	416,890	1,817,899
非支配株主に係る四半期包括利益	5,326	36,176



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年12月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式495,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が326,926千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,097,999千円となっております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(決算日後における法人税等の税率の変更)

「所得税法等の一部を改正する法律」(令和7年法律第13号)が2025年3月31日に公布され、2026年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税等の引上げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は前連結会計年度の計算において使用した30.62%から2026年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、31.52%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	26,279千円	28,809千円

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーシ ョン支援 事業	メディア 事業	ソリューシ ョン事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,187,079	1,559,175	699,828	3,446,083	52,778	3,498,862	—	3,498,862
外部顧客への売上高	1,187,079	1,559,175	699,828	3,446,083	52,778	3,498,862	—	3,498,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	52,940	52,940	△52,940	—
計	1,187,079	1,559,175	699,828	3,446,083	105,718	3,551,802	△52,940	3,498,862
セグメント利益	428,298	201,474	154,695	784,468	33,641	818,109	△155,715	662,394

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、(株)C r o w d L a bにおけるキュレーション事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△155,715千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロモーシ ョン支援 事業	メディア 事業	ソリューシ ョン事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,506,768	1,455,533	785,118	3,747,420	62,351	3,809,771	—	3,809,771
外部顧客への売上高	1,506,768	1,455,533	785,118	3,747,420	62,351	3,809,771	—	3,809,771
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	59,003	59,003	△59,003	—
計	1,506,768	1,455,533	785,118	3,747,420	121,354	3,868,774	△59,003	3,809,771
セグメント利益	631,957	161,193	101,763	894,915	37,002	931,918	△181,679	750,239

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)ブランジスタメディアにおけるメディア事業以外の各種受託事業、台湾子会社博設技股份有限公司における海外での制作受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△181,679千円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。